

JESCO 事業に関する記録の作成と資料の整理

1 本年度の作業

北九州、豊田及び大阪の各 PCB 処理事業所については、処理委託を受けた PCB 廃棄物の全ての処理を完了し、令和5年度末をもって操業を終了したことから、事業開始から操業終了までの状況を、PCB 廃棄物処理事業記録として取りまとめることとし、昨年7月に開催した事業検討委員会でご了解いただいた。

事業記録は、共通版と事業別で作成することとし、本年度は、事業記録の目次案の検討と、時系列に沿った主な事項の年表的な整理（以下、年表という。）を行っている。

2 資料の整理

事業遂行においてこれまでに作成された文書やデータ等の資料を管理しやすくするため分類案を作成した。これらの文書等は事業記録の作成の前提となるものである。

まず、本社及び各事業所の区分並びに処理事業の計画、施設の立地・建設、操業等のカテゴリで該当する書類を分類し、一覧案を作成した。記載例も含め別紙1に示す。この作業に当たって本社及び各事業所に存在する資料について確認し、一覧表を作成した。今後、これらについて電子化の有無及び公開・非公開について確認していくこととする。

公開に当たっては、原則として資料は原型のまま HP 等で公開するが、個人情報に係る部分等についてはマスキングなどによる保護を考慮する。また一定期間内は閲覧希望者のみに公開する対応を必要とする資料もあることに配慮する。個人情報を中心となる資料については、集計作業等により加工したものとする場合もある。

資料を収集整理するなかで、公開の方法や保存の考え方等について検討し、事業検討委員会や部会で指導・助言等いただくとともに、監視委員会でもご意見を頂戴する。

3 目次案及び年表の作成

事業記録の目次案については、時系列を基に施設の稼働前後で区切ることが内容として分かりやすいと考えて整理し、またこれでは対応できない事項には個別のトピックス欄を設けることで対応した。別紙2に示す。

また、事業全体の経緯を明確にすることと資料やヒアリング等の内容を基に記載する事項の時系列的な整合性を図るため、共通版と北九州・豊田・大阪の事業別の年表を作成した。なお本年表は、次年度以降に行う予定の資料収集やヒアリング等を通じて引き続き追加や精査をしていくが、それぞれ別紙3～別紙6に示す。

4 次年度の作業

資料を収集整理するとともに、年表に記載した事項の具体的な内容や資料において把握しきれていない担当者の経験内容などを把握するためヒアリングを行う。

併せて事業記録の目次案や年表について精査作業を進め、加えて事業記録本文の執筆作業にも取り掛かる。